

家族って、
わずらわしくて、厄介で、
それでもやっぱり、いとoshii。



江口のりこ 内田慈 古川琴音 青山フォール勝ち
(ネルソンス)

お母さんが一緒

母親を連れて温泉にやってきた三姉妹。楽しいはずの旅はいつしか壮絶な姉妹喧嘩へ――。
稀代の映画監督・橋口亮輔が、ペヤンヌマキによる同名の舞台を脚色。
9年ぶりの監督最新作は、笑えて泣ける傑作ホームドラマ。

原作・脚本：ペヤンヌマキ

監督・脚色：橋口亮輔 (『ぐるりのこと。』『恋人たち』)

制作プロダクション：ビデオプランニング 製作：井田寛 プロデューサー：深田誠剛 三木和史 企画：小野仁史 撮影：上野彰吾(JSC) 照明：赤津淳一 美術：仲前智治 録音：中村雅光 整音：小川武 編集：宮島竜治(JSE) 音楽：平井真美子
配給：クロックワークス 製作：松竹ロードキャスティング ©2024松竹ロードキャスティング

観る者すべての心を揺さぶった『恋人たち』から9年。
 誰もが待ち望んだ橋口亮輔監督最新作は、
 心をそっと包みこむ”家族“の物語。

誰も、心のまんなかには家族がある。
 ときに痛かったり、むず痒かったり、理不尽だったり。
 それでも手放せない、いとoshii“ぬくもり”。

— 橋口亮輔

思いきり笑い泣いたあとには、
 しみじみと家族を思う、
 ホームドラマの傑作が誕生！

親孝行のつもりで母親を温泉旅行に連れてきた三姉妹。長女は美人姉妹といわれる妹たちにコンプレックスを持ち、次女は優等生の長女と比べられてきたことを恨んでおり、三女は姉二人を冷めた目で観察していて、全員が「母親みたいな人生を送りたくない」という共通の思いを抱えている。温泉宿の一室で爆発する三姉妹の母親への愚痴は徐々にエスカレートし、お互いを罵倒する修羅場へと発展していく。そこに清美がサプライズで紹介しようと考えていた彼氏・タカヒロが現れ、物語は思わぬ方向へ——。「いちばん近い他人」である家族だからこそ感じる不満やいら立ち。悲喜こもごもを毒気とともにあたたかく軽やかに綴った、家族ドラマの傑作が誕生した。

言おうとしたけど、
 お姉ちゃんたち
 全然話聞かんげん



母ちゃん大事に
 できる奴は
 彼女ができて
 大事にできる



稀代の映画監督・橋口亮輔が、ペヤンヌマキの同名舞台を脚色、映像化。
 江口のりこ、内田慈、古川琴音、青山フォール勝ち(ネルソンス)ら
 個性豊かなキャストが集結！

監督は、キネマ旬報ベスト・テン日本映画第1位をはじめ数多くの映画賞に輝いた名作『恋人たち』(15)以来の新作となる橋口亮輔。劇作家・映画監督などマルチな才能を発揮するペヤンヌマキによる同名の舞台を、橋口監督が脚色したオリジナルドラマシリーズが、このたび新たに再編集され映画となった。長女・弥生役は、映画やドラマなど多方面で活躍し、主演作の公開も相次ぐ実力派・江口のりこ。次女・愛美に、舞台・映画・ドラマで独自の存在感を発揮する内田慈。いま最も注目される若手俳優の一人として話題作への出演が続く古川琴音が三女・清美に扮し、その彼氏・タカヒロにお笑いトリオ「ネルソンス」のメンバーとしてバラエティ番組で活躍する青山フォール勝ちが抜擢され、人気・実力を兼ね揃えた個性豊かなキャストが勢揃いした。

何で3人もあって、
 めんなうまく
 いかんとやろね。
 やっぱりお母さんの
 せいやろ



お姉ちゃんって、
 ほんとにお母さん
 そっくりだよ



原作・脚本：ペヤンヌマキ 監督・脚色：橋口亮輔 出演：江口のりこ 内田慈 古川琴音 青山フォール勝ち(ネルソンス) 配給：クロックワークス 製作：松竹プロードキャスト 2024年/日本/カラー/DCP/5.1ch./ビスタ/106分

HP: www.okaasan-movie.com X: [@okaasan_movie](https://twitter.com/okaasan_movie) F: [movie.okaasan](https://www.facebook.com/movie.okaasan)



7/12(金) 公開 ムビチケカード1,600円(税込) 発売中!